

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	身近な防災の取り組みについて
調査期間	2024年4月12日（金曜）～4月25日（木曜）
設問数	全9問（分岐設問除く）
対象モニター数	8,035名
回答モニター数	4,256名（53.0%）

【調査結果概要】

今年1月1日に能登半島地震が発生し、住宅の耐震化や密集市街地対策、生活物資の備蓄など、災害に対する備えの重要性を改めて認識させられました。本市では、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると言われている南海トラフ地震に対して、防潮堤を整備するなど様々な災害対策に取り組んでいるところであり、この機会に市民の皆さんの防災意識について調査し、今後の市の取り組みの参考とさせていただくため、本アンケートを実施しました。

これまでの被災経験については、阪神淡路大震災を経験した人が73.8%と最も多く、平成30年7月豪雨が7.1%、東日本大震災が4.8%、神戸の水害が3.8%、その他が1.1%、いずれも経験していない人が22.5%でした。

食料や飲料水の備蓄について、何らかの備蓄をしていると回答した人は73.6%でした。

また、生活用品の備蓄についても、トイレトペーパーの備蓄に関しては74.2%の人が備蓄していると回答いただきました。

家具の固定や配置の工夫について、何らかの固定や配置の工夫を行っているという人は72.9%で、全くしていない人の理由の多くは面倒だから（32.1%）と費用がかかるから（25.9%）でした。

感震ブレーカーの設置については、既に設置している人は20.7%で、設置していないが、今後設置したいと回答した人が22.1%、設置していないし今後設置するつもりもないと回答した人は11.6%で、多くの人は設置しているかわからない（45.6%）との回答でした。また、設置するつもりがない人の理由で最も多かったのは設置費用がどれくらいかわからないから（40.7%）でした。

続いて、ペットを飼っている人の割合は18.9%でした。ペット同行避難が可能な避難所があることを知っている人の割合は17.7%で、ペットを飼っている人のうちペット同行避難可能な避難所があることを知っている人の割合は28.8%でした。ペット同行避難が可能な避難所の認知度に課題があることが分かりましたので、さらに多くの人に知っていただくと共に、ペットの飼い主の皆さんに同行避難に必要な知識を習得していただくための取組を進めてまいります。

また、LINEを活用した災害情報共有システム（実証実験中）について、使ったことのない人の割合は94.6%でしたが、このうち使ったことはないが今後使ってみたいと回答した人は全体の80.7%と高い割合でした。

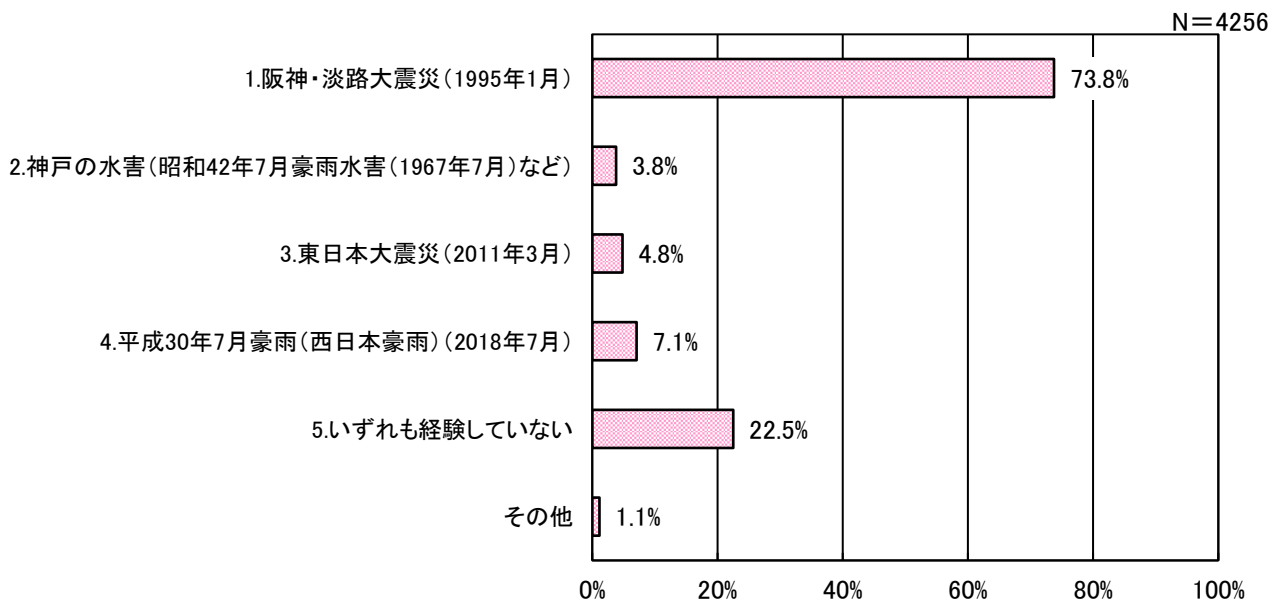
自由記述においては、訓練に参加できる機会を増やしてほしいといった声や、防災に関する情報をもっと発信してほしいといったご意見等をいただきました。

【総評】

全体として、防災に関する情報をもっと発信してほしいといったご意見を多くいただきました。また、日ごろからの災害への備えに関して、何らかの備蓄をしていると回答した人、家具の固定や配置の工夫をしていると回答した人はともに約7割に留まる結果となりました。災害はいつ起こるかわかりません。被害を最小限に抑え、発災直後の生活を守るには、あらかじめ備えておくことが重要です。今回のアンケートの結果・ご意見を踏まえ、防災に関する広報・啓発等、今後の取組みに生かしてまいります。

問1 これまで阪神・淡路大震災やその他の大きな災害で被災したことがありますか。該当するものをすべて選択してください。

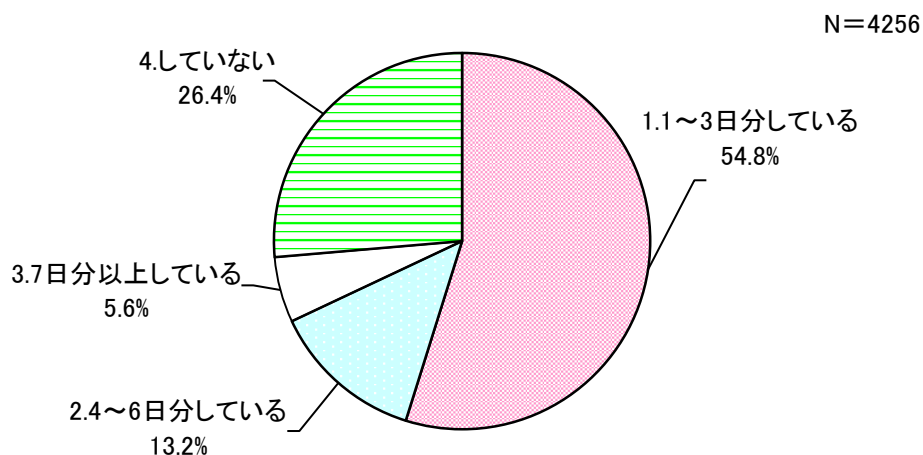
*被災…ご自身がけがをした、お住まいや家財が被害にあった、電気や水道が使えず生活困難な状況になった など



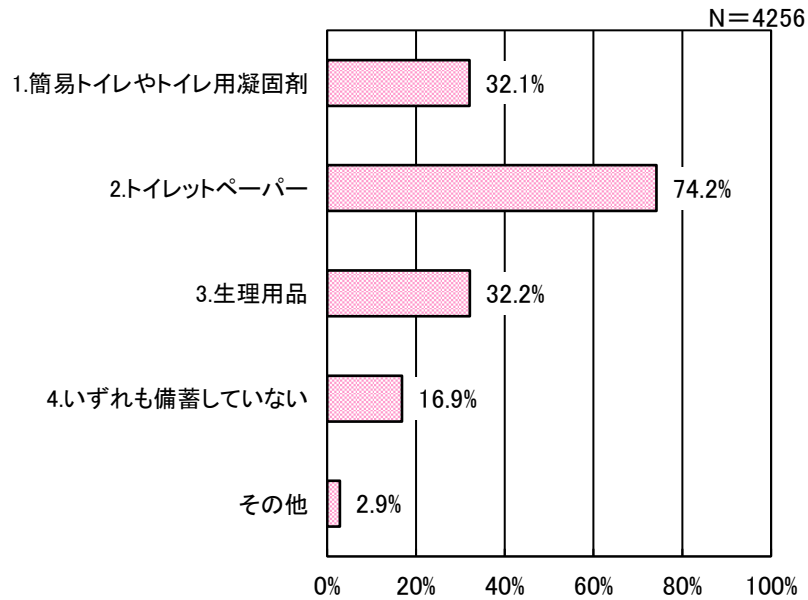
その他

- ・平成 28 年熊本地震
- ・平成 30 年大阪府北部地震
- ・令和 6 年能登半島地震

問2 神戸市では、家庭内備蓄として、最低3日分、できれば7日分の食料と水（ひとり1日3リットル）を確保することを市民の皆さんにお願いしています。普段から災害などに備えて、保存の利く食料や飲料水を備蓄したり、買い物の際に少し多く買い置きしたりしていますか。



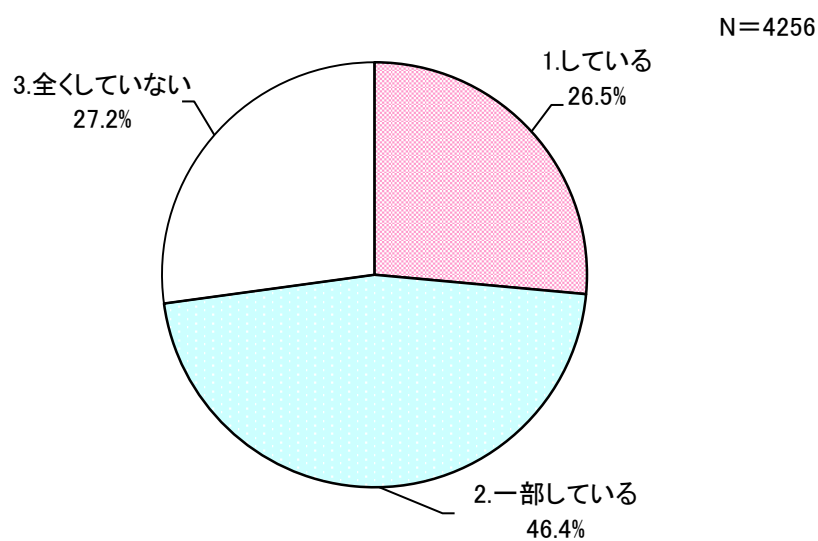
問3 今年1月1日に発生した能登半島地震では、断水により長期間にわたりトイレが使えなかったり、道路の寸断により生活用品などの物資が届くまで時間がかかったりといった問題が起きました。そこで、お尋ねします。ご自身で普段から生活用品などの備蓄をしていますか。備蓄しているものをすべて選択してください。



その他

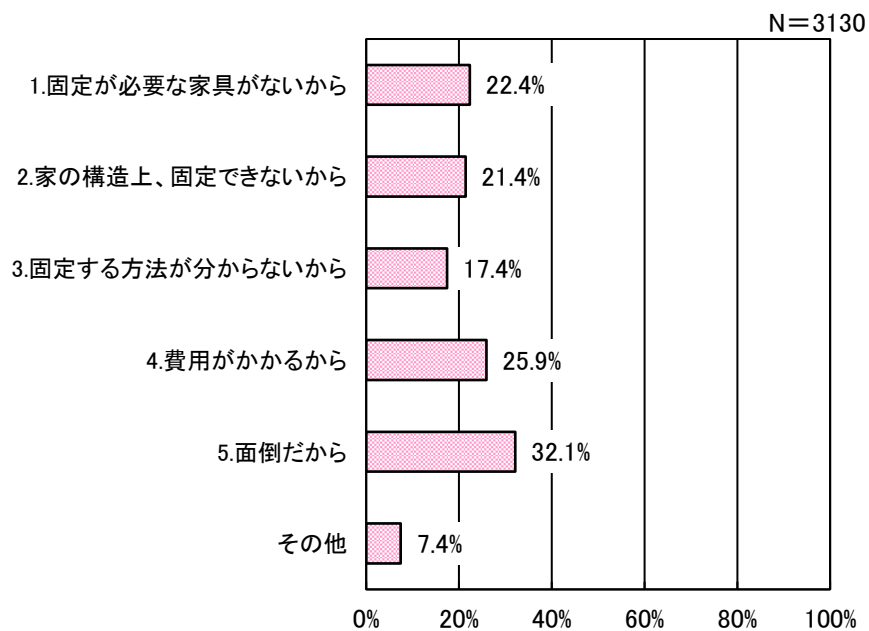
- ・カセットコンロ
- ・おむつ
- ・医療用品

問4 地震のときに寝室などの家具の転倒による被害を防ぐため、家具の配置を工夫したり固定したりしていますか。



<家具の固定などをしていない方、一部のみしている方>

問4-1 家具の固定などをしていない理由は何ですか（該当するもの全て）



その他

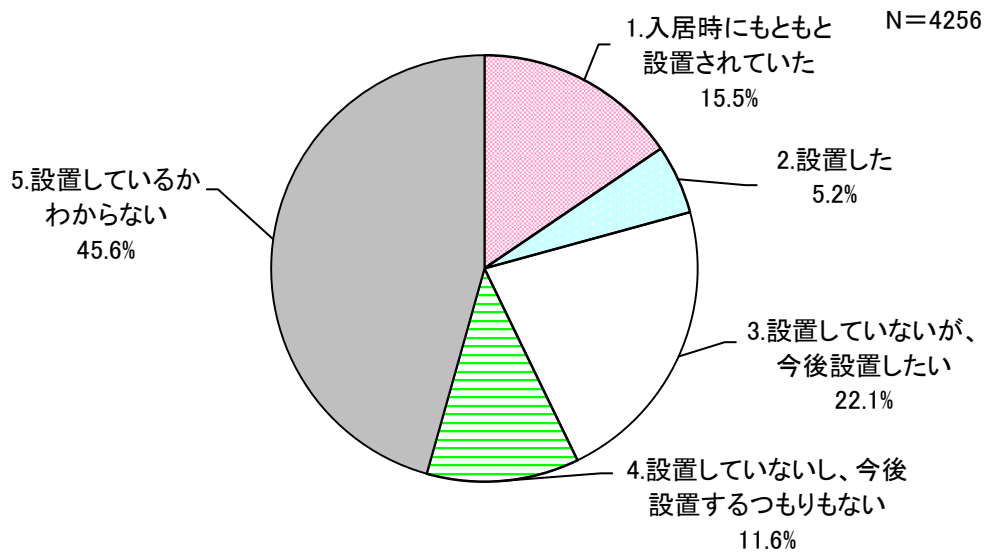
- ・賃貸のため、壁に穴をあけることができないから
- ・しないといけないと思っているが、時間がないから
- ・自力で実施できないから

問5 地震のあとの通電火災を防ぐものとして、地震発生時に強い揺れを感知した場合にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に遮断する機器「感震ブレーカー」があります。自宅に感震ブレーカーを設置していますか。

※ 通電火災とは、地震による停電の後に電気が復旧したときに、無人での電気器具の点灯や、傷付いた電気コードからの漏電などによって出火する火災のことです。

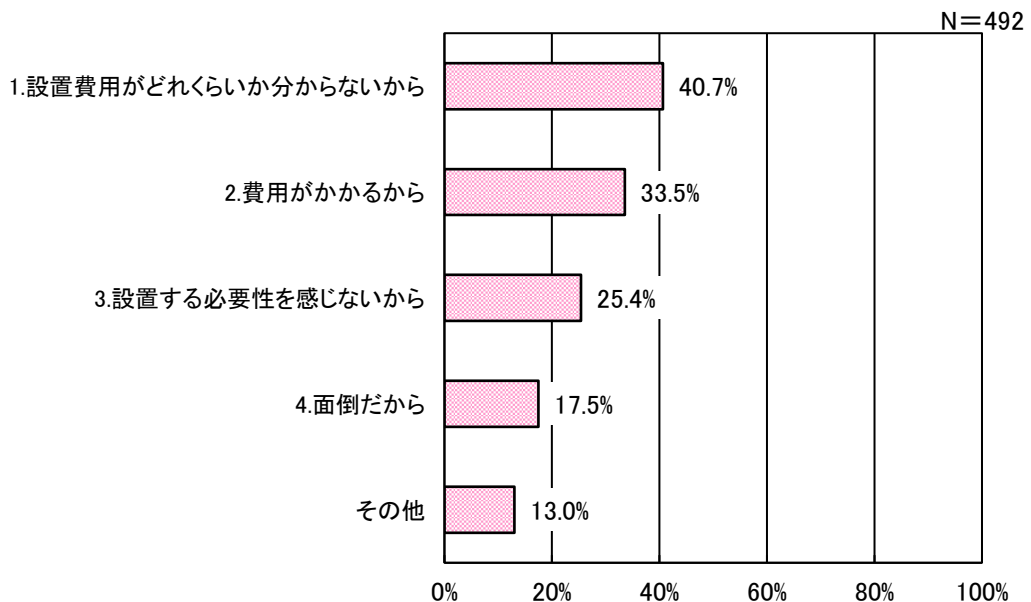
※ 感震ブレーカーの詳細はこちらから確認ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/60005/knbr.pdf>



<今後設置するつもりがない方>

問5-1 その理由は何ですか。(該当するものすべて)

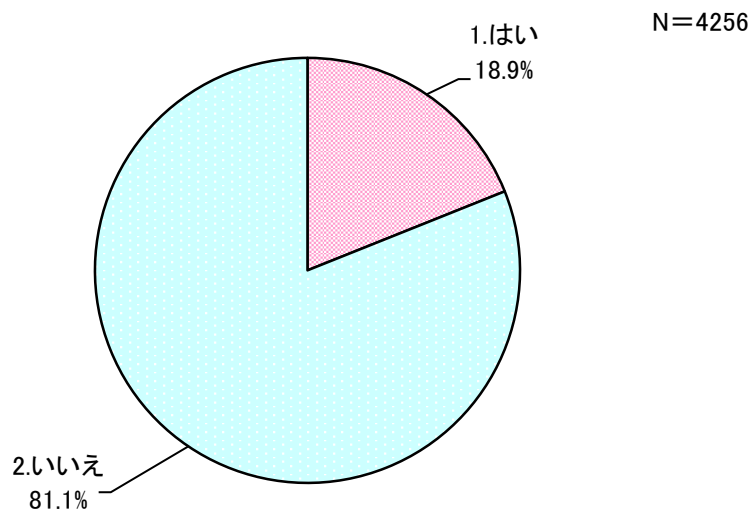


その他

- ・賃貸のため、設置できないから
- ・どこに頼めば良いかわからないから

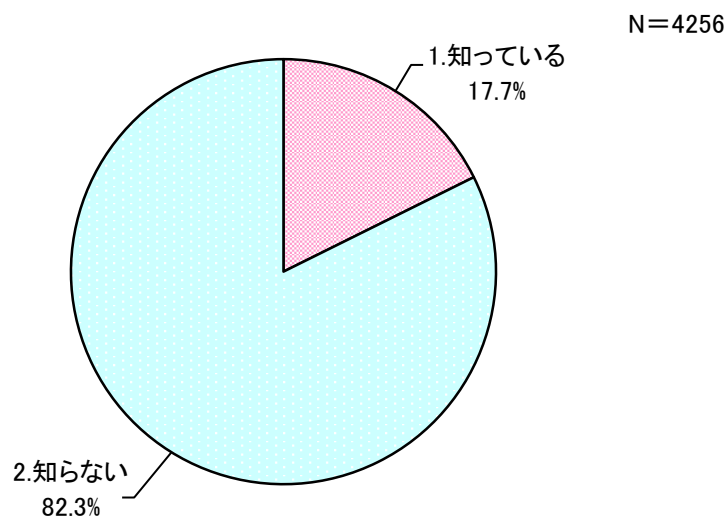
問6 自宅でペットを飼っていますか。

※ ここでのペットとは、犬や猫などの小型の哺乳類や鳥類、小型は虫類などの家庭動物を指します。



問7 神戸市には、災害時にペット同行避難が可能な避難所があることを知っていますか。

※ ペット同行避難とは、災害時に飼い主とペットと一緒に避難し、別々のスペースで過ごす避難方法です。(人の居住スペースとペットの一時飼育スペースを分離します)

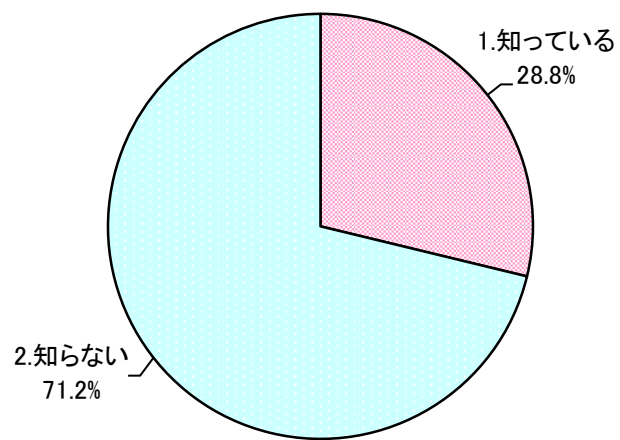


【参考】「災害時のペットとの避難ガイドライン」

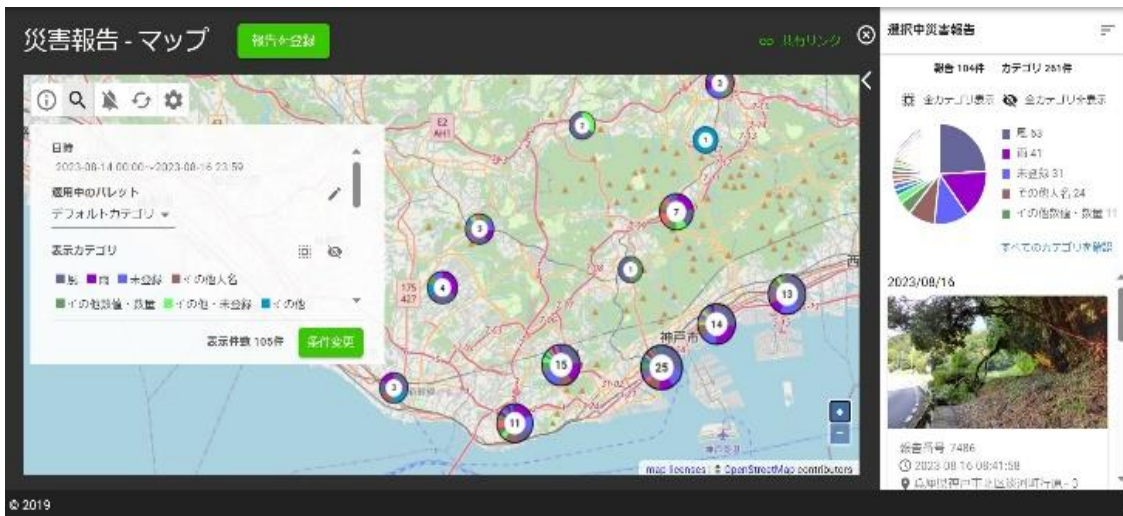
<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/2173/230822petguide.pdf>

(参考集計) ペットを飼っている人のうち、ペット同行避難可能な避難所があることを知っている人の割合

N=806

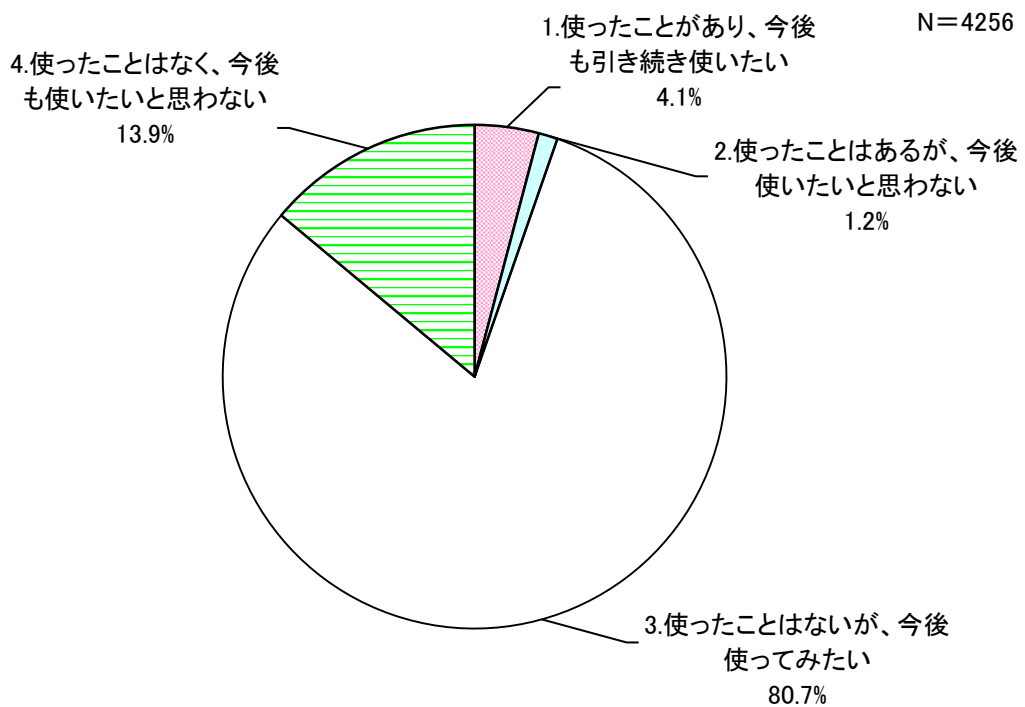


問 8



神戸市では、2019 年から、災害時に、個人のスマートフォンから周囲の情報を LINE アプリで投稿し、その情報を LINE 上の地図に整理・集約する「LINE を活用した災害情報共有システム」の実証実験を実施しています。今後このシステムを本格導入するか検討するにあたりお尋ねします。このシステムを使ったことはありますか。また今後あれば使いたいですか。
 ※ 「LINE を活用した災害情報共有システム」はこちらから確認ください。

https://www.city.kobe.lg.jp/a46152/bosai/prevention/preparation/117line_kunren.html



問9 神戸市や地域、会社、学校、個人など、それぞれで行う防災の取り組みについて、ご意見、ご感想などがあれば教えてください。

- ・防災訓練など、参加したいが案内などどこでしているのかよくわからない。
- ・避難所設営訓練とやらがあれば参加してみたい。無いなら今後そういった活動をしてほしい。
- ・もっと防災に対して感心もちたいので広報紙でのアピールをお願いします。
- ・学校は定期的に訓練されていると思うが、地域単位などの訓練を市の協力のもとに実施して欲しいです。ふれまちや自治会が中心になって音頭をとってほしいです。
- ・防災マップが配布されていますが普段あまり見ません。このアンケートを機会に防災に対する関心をもう少し高く持ちたいと思いました。
- ・災害が多発してる感が否めません。各自が意識して取り組んで行きたいです。予備の演習があれば、参加したいです。
- ・南海トラフ地震の発生確率が高く、最近日本のいろんなところで地震が起こっていて、いっどこで起こってもおかしくない状態が続いています。家族でも避難場所の確認や、地震が起こったと想定して、ライフラインが止まった時のシミュレーション、家具の固定、ストックの見直しなどできることをしておきたいと思います。
- ・避難訓練を実施してもらいたい。
- ・いざという時の備えは大切ですが、忘れがちになっているので、日頃からの意識付けをするアナウンスをしてもらえたら嬉しいです。
- ・阪神淡路から年月がたち、地震への備えが必要なことが薄らいできているように感じます。元日の能登の地震や、それ以降各地で大きな地震が頻回していることから、行政が先頭に立ち防災、減災の周知徹底をして頂くことを願います。
- ・感震ブレーカーにはどう言ったものがあるのか、また後付けが出来るのか、設置できるならどれくらいの費用がかかるのかが知れたり、実際に見たりできるイベントがあれば行きたい。

全 832 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

※多くご質問いただいた「災害への備え」「感震ブレーカー」については、こちらをご確認ください。

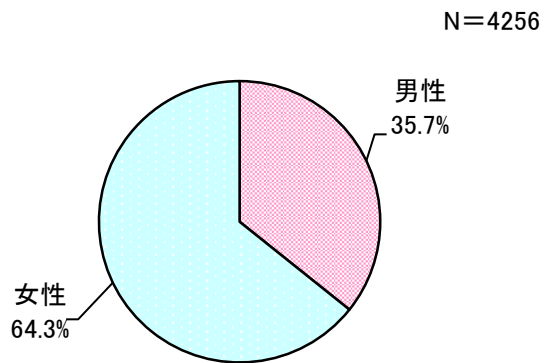
「災害への備え」

<https://www.city.kobe.lg.jp/a46152/bosai/prevention/preparation/sonaetou.html>

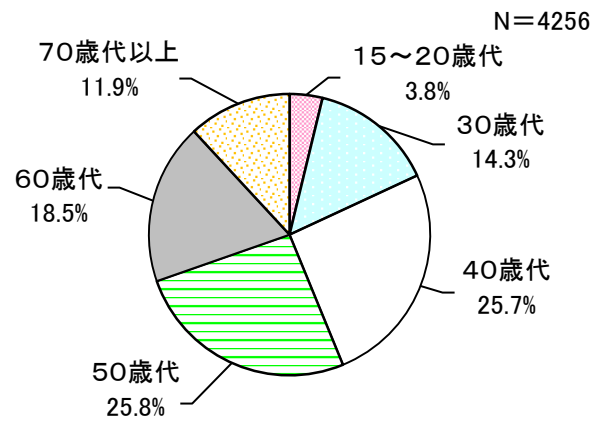
「感震ブレーカー」

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/60005/knbr.pdf>

【性別】



【年代】



【区】

